



損保ジャパン日本興亜 環境財団ニュース Vol.4



Sompo Japan
Nipponkoa
Environment
Foundation

発行者／公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL：03-3349-4614 FAX：03-3348-8140

URL：http://sjnkef.org/ E-mail：office@sjnkef.org

1. 「2016年度CSOラーニング制度」第2回全国合宿及び修了式の開催

2017年3月、大学生・大学院生のための環境NPO・NGO長期インターンシップ「CSOラーニング制度」の第2回全国合宿、修了式を開催しました。全国合宿では、参加学生がディスカッション等を通じてインターンシップで得た学びを振り返り、それぞれの課題を明確化すると共に、今後それぞれの立場でどのような目標を持って残りの学生生活、新たな社会人としての生活に反映させていくか、計画を立てる時間となりました。



将来の計画を話し合い



出席者全員で記念撮影

翌日には当財団の理事会に併せてCSOラーニング生の修了式を開催しました。学生たちは、役員を前に一年間のCSOでの活動報告を行いました。代表スピーチに選ばれた6名は堂々とそれぞれの想いや夢を語り、一年間の制度の締めくくりとなりました。



グループに分かれてインターン活動を振り返り

修了生の声(修了レポートから)

【活動を振り返って】

- 「いちばん楽しかったことは、イベント活動でのディスカッションに参加して、色々な人の意見やアイデアを聴くことでした。社会人の方々と多くの交流が多く、視野が広がり、色々な角度、視点で知ることができました。」(大学3年・女性)
- 「CSOラーニング制度は、派遣先での活動だけでなく、定例会や全国合宿があり、異なる活動を行っているラーニング生同士で話し合う機会があることが大きな特徴だと思います。同期の仲間たちと話すことは、自分のモチベーションの向上や視点の広がりにつながり、とても有意義でした。」(大学3年・女性)

【今後の活動】

- 「私は、このインターンで感じ学んだことを活かし、「環境」や「食」に携わることのできる仕事に尽きたいと考えています。人と人の繋がりを「環境」や「食」を通じて提供することが今の私の夢です。まだまだ漠然としていますが、来る就職活動に向け、自分ごとのような形でそれを実現したいのか、よく考えて行動していきたいと思っています。」(大学3年・女性)
- 「ラーニング制度は終了したが、今後も環境保全に何かしらの形で携わっていこうと考えている。環境活動がある種の私のライフワークになっているため、NGOや所属しているユース団体での活動を通して、今後も環境活動をしていくつもりである。」(大学院修士1年・男性)



財団役員を前に活動報告

2. 「学術研究助成」では博士号の取得を支援しています

環境財団では、環境分野の博士号取得研究への助成を通じて環境人材の育成に取り組んでいます。2015年度に助成金を受け、この度見事博士号を取得された東口阿希子さん(京都大学大学院/当時)にお話を伺いました。

Q1. 博士論文の内容について教えてください。

「イノシシやシカなどの野生動物による被害が、全国の農村地域で深刻化しています。地域が一体となって取り組むことが有効なのですが、住民の考えは一律ではなく、また過疎化・高齢化が著しく人手不足も深刻で、なかなか対策が普及しません。住民の思考に何が影響するのか、異なる考えを持つ住民たちが合意形成する際にどのような課題が生じるのかについて、社会科学的な観点から明らかにしました。」



野生動物の侵入防止柵設置の様子

Q2. 当財団の助成金はどういった点で役に立ったのでしょうか?

「住民のアンケート調査などに活用させていただきました。助成金をいただいたことで大規模な調査が可能となり、また現地にも何度も訪問できたことで信頼のおける結果を得ることができました。昨今は、外部の研究資金獲得が研究者に不可欠な要素となっています。助成金をいただいたことは、現職を得る上でも強く影響したと思っています。学位取得だけでなく、その後の研究者人生までも支えて頂きました。」

環境財団では現在2017年度の学術研究助成先を公募しています。

(詳細は財団HPをご覧ください。 <http://www.sjnkef.org/grant/index.html>)

Q3. 現在のお仕事の内容と将来の希望など教えてください。

「4月より岡山大学大学院環境生命科学研究科に助教(特任)として着任し、農業経済学をツールとして、農村社会や農家が抱える課題の解決を目指す研究を行なっています。今後は後進の育成にも励み、学術的な価値を生み出すだけでなく、社会の課題解決に実際に貢献できるような研究者を目指します。」

博士号取得おめでとうございます。益々のご活躍を祈念しています。



ドローンを活用した農村景観の撮影(中央が東口先生)



東口先生

3. 2017年度市民のための環境公開講座が開講します!

当財団が、公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)および損害保険ジャパン日本興亜株式会社と協働で開催している「市民のための環境公開講座」。2017年度は、「海から見た環境問題」、「未来世代へのメッセージ」、「自然災害への備えと環境問題」の3つのパートに分けて、合計9回開催します。

●会場：損保ジャパン日本興亜本社ビル ●時間：18:30～20:15 ●詳細・お申し込み： <http://sjnkef.org/kouza/kouza2017>

●●● 市民のための環境公開講座 講座一覧 ●●●

PART 1

海から見た環境問題

●7月4日(火)

国がなくなる?!

=地球温暖化・気候変動最前線から・キリバス共和国=

キリバス共和国名誉領事・大使顧問 ケントロ・オノ氏

●7月11日(火)

駿河湾の深海生物を世界のアイドルに!

沼津港深海水族館 館長 石垣幸二氏

●7月18日(火)

素潜り水深100mから見た世界の海

フリーダイバー 篠宮龍三氏

PART 2

未来世代へのメッセージ

●9月5日(火)

エシカルな選択が未来を変える ～私たちの役割～

一般社団法人エシカル協会代表理事、フリーアナウンサー 末吉里花氏

●9月12日(火)

スターバックスの倫理的なコーヒーの調達

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
コーヒースペシャリスト 田原象二郎氏

●9月19日(火)

本当の環境問題

早稲田大学教授 池田清彦氏

PART 3

自然災害への備えと環境問題

●11月7日(火)

気候変動適応策からグリーンインフラへ 持続可能で質の高い社会に向けて

東京環境科学研究所 主任研究員 市橋新氏

●11月14日(火)

地震・噴火頻発期の日本列島 その後の変化と課題

京都大学教授(地球科学者) 鎌田浩毅氏

●11月21日(火)

異常気象と私たちの暮らし

気象予報士・防災士・環境カウンセラー・元NHK気象予報士 飯島希氏

特別講座

親子向け体験講座「海と陸が出会う場所 砂浜からみた海を学ぶGEMSワークショップ」

●日時：7月1日(土) ●場所：日本科学未来館 ※詳細はWEBをご覧ください。